

感性 みずみずしく

プロの兆し 将来に期待

■小学校の部■ 安田理沙さん



■中学校の部■ 北田千尋さん



形姿來取こにを味を立、必こ

■バイオリン部門

立体的な旋律が印象的

的には「ハイローラー」の上回り者
的な演奏があつたが、体格
に差がある共演者には、音
量に十分気を配る必要があ
る。
中学校の部は、北田千尋
に据えるやうになれば、「
出で、全体の構築を立体的

た時などシートがかかるに不安で「フレーズを盛り上げていいんだから」「わったいな」と騒ぎがあった。3位の都司楽用は、シベリウスの管弦の音色が平面的で、高校の部は、レベルが低

第65回全日本学生音楽コンクール全国大会が11月横浜（毎日新聞社主催、横浜市共催）・NHK後援、ANA、島村楽器、三義楽器、事務協賛、横浜みどりみらいホール協力）が12月1日から3日の6日間、同市西区にある横浜みなとみらいホールで行われた。ピアノ（小、中、高校）、バイオリン（同）、声楽（高校、大学）、フルート（中、高校）の4部門計10部だ。東京・大阪・名古屋・北九州・北海道の5地区大会の予選・本選を勝ち抜いた計121人が自由曲を演奏し、日々の成果を発揮して頂点を競った。各部第3位までの入賞者の審査結果と各部門の全国大会審査員の代表者による講評を紹介する。ピアノ部門、バイオリン部門は9人、声楽部門、フルート部門は10人が25点満点で採点した。最高点と最低点を除外した平均点で順位を決めた。出場者を1年以内に指導したことのある審査員は当該出場者の採点には参加しなかった。（敬称略）同位は演奏順、写真は各部の第1位）

部	順位	地区	バイオリン名 氏	平均	合計	磯	植	久保田	林	室谷	渡辺	和波
						村	原	田	茂子	高広	玲子	孝穂
小学校	1	名古屋 東京 東京 東京	安田	22.86	160	23	24	23	21	23	24	23
	2		理沙	21.57	151	22	20	22	24	23	29	18
	3		亮太	21.57	151	23	19	23	21	22	21	23
中学校	1	大阪 京都 九州	東清水健	21.57	150	23	18	21	23	21	21	21
	2		太郎	21.43	150	23	18	21	23	20	21	21
	3		櫻楓	21.43	150	23	18	21	23	20	21	21
高校	1	大阪 京都 京都	北田	22.29	156	23	22	23	19	20	23	23
	2		砂原アサヒ	22.00	154	21	20	21	19	20	21	24
	3		菜月	21.57	151	24	20	22	20	21	22	23

■高校の部■

土井遙さん



卷之三

h t003